



©Jim Darlington

ヘリウムガスをご存知ですか。
 私たちがこのガスを吸うと、ドナルドダックのような変な声になります。
 その音声の変わり方をしらべると、音声をつくるしくみがわかります。
 ヘリウム音声実験からわかった生物の声の進化を紹介します。

Lecture series

- 研究の最先端 -

no.155

様々な分野の研究をリードする
 京大の研究者たち。

一緒に、研究の世界へ。
 中高生も大歓迎です。



オンライン開催
 (使用アプリ: Zoom)

事前申し込み制

先着30名

★定員になり次第

受付を終了させていただきます★

ヘリウムを吸ったサルとワニ

2021.06.12 sat.

11:00 ~ 12:00

西村 剛

霊長類研究所 准教授

音声は目に見えない空気の振動なので、なかなか理解するのが難しいのですが、みなさんに少しでも理解していただけるよう頑張ります。
 言葉が通じない動物相手の実験には、いろいろ苦労することもあります。
 その辺りも感じていただけたらと思います。



【申込み方法】

下記アドレスまでE-mailでお申込み下さい。

件名に「レクチャーシリーズ155希望」と明記の上、1)~3) についてお知らせください。後日改めて参加のためのURL等をお知らせ致します。

- 1) 氏名
- 2) 電話番号
- 3) E-mail

【問い合わせ】

京都大学総合博物館 tel:075-753-3272

E-mail: info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp